

# 市職員の給与と職員数をお知らせします

問い合わせ 人事育成課 ☎24・8021

## 1. 人件費の状況 [平成30年度普通会計決算]

※人件費には、退職金、共済負担金、特別職・議員に支給される給与・報酬などを含みます。

歳出額(A)	人件費(B)	人件费率(B/A)
465億6,620万円	49億8,525万円	10.7%

## 2. 職員給与費の状況 [平成30年度普通会計決算]

※職員数は、総職員数から公営企業等会計部門を除く、平成30年4月1日現在の人数です。職員手当は退職手当を除く額です。

職員数(A)	給与費計(B)	1人あたりの平均給与額(B/A)
658人	36億2,156万円	550万円

## 3. 職員の平均給料月額 [平成31年4月1日現在]

※一般行政職は、税務職、医療関係職、福祉職、消防職、企業職、技能労務職、教育職を除く職員です。

区分	平均年齢	平均給料月額
一般行政職	42.9歳	318,029円

## 4. 一般行政職の初任給および経験年数別平均給料月額 [平成31年4月1日現在]

区分	初任給	経験10年	経験20年	経験25年	経験30年
大学卒	180,700円	256,033円	354,067円	385,150円	405,529円
高校卒	148,600円	209,700円	該当者なし	289,000円	358,100円

## 5. 職員手当の状況 [平成31年4月1日現在]

◎期末・勤勉手当

区分	内容		
	6月期	12月期	合計
期末手当	1.300月分	1.300月分	2.600月分
勤勉手当	0.925月分	0.925月分	1.850月分

※職務の級などに応じた加算措置があります。

※これらのほか、扶養手当、住居手当、通勤手当、特殊勤務手当などを支給しています。

◎退職手当

勤続年数	自己都合	定年
勤続20年	19.6695月分	24.586875月分
勤続25年	28.0395月分	33.27075月分
勤続35年	39.7575月分	47.709月分
最高限度	47.709月分	47.709月分

## 6. 特別職の給料・報酬月額

区分	月額	期末手当
市長	803,250円 (945,000円)	3.35月分 (30年度支給割合)
副市長	696,600円 (774,000円)	
教育長	599,400円 (666,000円)	
議長	620,000円	
副議長	550,000円	
議員	520,000円	

※市長は15%、副市長・教育長は10%の給料減額中です。

※( )内は、減額措置を行う前の金額です。

## 7. 職員数の状況 [各年度4月1日現在] (単位：人)

部門	区分	職員数		対前年増減数
		平成30年度	平成31年度	
普通会計部門	一般行政部門	379	367	-12
	教育	144	135	-9
	消防	135	133	-2
	小計	658	635	-23
公営企業等	病院	449	438	-11
	水道	21	19	-2
	下水道	15	16	1
	その他	33	33	0
	小計	518	506	-12
総職員数合計		1,176	1,141	-35

受賞おめでとうございます



# 文化賞

小松市文化賞は、科学をはじめ芸術、産業、経済など広く文化の発展に尽くし、活躍された人にお贈りしています

問い合わせ 広報秘書課 ☎24・8000

### 郷土史を愛する輪を広げ、先人の志を次世代へ



やままえ けいすけ  
**山前 圭佑さん** (小寺町)

加南地方史研究会顧問

#### 主な経歴

- 昭和50年 小松市立博物館専門委員
- 昭和62年 小松市文化財調査委員会委員
- 平成7年 加南地方史研究会会長
- 平成8年 小松市立丸内中学校校長を務め退職  
新修小松市史専門委員  
大和ぬくもり大学歴史講座講師
- 平成26年 加南地方史研究会顧問

山前さんは、昭和33年から38年間、小・中学校で教鞭を執るとともに、校長として学校経営や教育課程研究などで手腕を発揮し、教育の充実・発展に尽力されました。

その間、大学時代から知見を深めてきた郷土史研究にも積極的に関わり、平成7年には加南地方史研究会会長を務め、南加賀の郷土史研究を牽引する存在として、その普及・啓発に寄与されました。

また、平成24年には小松市文化財調査委員会委員長に就任。小松市内の文化財の発掘・保護の分野でも40年以上の長きにわたり献身的に取り組みられています。

更に、新修小松市史の制作においては、専門委員、編纂委員、編集委員として、郷土史料の収集・整理や執筆活動に尽力。史料の所有者の家には丁寧に訪

問し、信頼関係を構築することを大切にするなど地道な活動が続け、常に新たな地元史料の活用と市民の要望に応える分りやすい市史づくりに努めています。

今でも大和ぬくもり大学で、歴史講座の講師として250回を超える講座を行い、次世代への教育にも力を入れている山前さん。次なる目標は「新修小松市史全20巻の刊行を全うすること」と更なる取り組みへの決意を見せています。山前さんのモットーである「百尺竿頭一歩を進む」という、更なる上を目指し続けることを意味する言葉のとおり、教育と郷土史研究への熱い思いと探究心はこれからも尽きることなく、その目は常に明日を見つめています。

【教育・歴史】